

総合戦略に係る効果検証の実施状況について (令和6年度実績を踏まえた内部評価と外部評価)

1 経緯

令和6年2月、第2期大船渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：令和2～6年度）を抜本的に改訂し、大船渡市デジタル田園都市国家構想総合戦略（以下「デジ田総合戦略」という。）を策定したが、デジ田総合戦略の「6 デジ田総合戦略の推進」に基づき、基本目標の達成に向けて、PDCAサイクルを組み込むとともに、事業実施後には効果検証を行うこととしている。

このことから、デジ田総合戦略の2年目である令和6年度の実績（実施状況等）について、庁内での「事後評価（内部評価）」を行うとともに、その結果をもとに、大船渡市総合戦略推進会議において、各プロジェクト等の進捗度等の「外部評価」を行ったところである。

2 検証主体

＜事後評価（内部評価）＞

- ・大船渡市総合戦略推進本部・・・8月21日実施
- ・大船渡市総合戦略推進本部専門部会（持続可能なまちづくり対策部会、心ゆたかな暮らし対策部会）・・・7月28、29日実施

＜外部評価＞

- ・大船渡市総合戦略推進会議（以下「推進会議」という）
※学識経験者を含む委員9人で構成

3 外部評価における検証方法等

次のとおり外部評価を実施し、委員から「課題解決や取組改善に向けた意見・提言等」や「進捗度評価」をいただいた。

- ・開催状況：10月9日
- ・市側同席者：関係部課長等
- ・検証方法：4つの基本目標と、9の施策・18プロジェクトの一部について、内部検証後の検証シートに基づき、効果検証を行い、意見や提言等をいただいた。
- ・意見提言数：19項目

4 検証結果に係る特記事項

推進会議での検証結果は、すべて内部評価を承認するものとなった。

5 外部評価での検証内容の反映

推進会議での「課題解決や取組改善に向けた意見・提言等」や「進捗度評価」について、基本目標等検証シートにそれぞれ反映させるとともに、対応状況等として取りまとめ、デジ田総合戦略の推進や各種事務事業の改革・改善を図り、翌年度以降の実施へとつなげるものとする。